

「地域のかかりつけ医 まるき内科クリニック」

“薬師かわら版”

発行者 院長 鈴木 慎二



待合室

東日本大震災から3月11日で6年が経ちました。大震災や台風などから得た教訓を学び常に災害に備えておくことが大切です。
今回、患者さんのための災害対応の心得をお知らせします。

1 対処法を日頃から主治医や家族と話し合う

災害が発生した後に通院している医療機関で診てもらえるとは限りません。そのような場合でも適切に対処できるよう、治療薬の予備や糖尿病食の備蓄などについて主治医と相談し、また家族とも話し合っておきましょう。



2 重要な薬とかかりつけ医は覚えておきましょう

「白くて丸い球の薬」と言っても何の薬かわかりません。大切な薬は名前をメモして言えるようにしておいてください。また、かかりつけ医や近くの医療機関と連絡が取れるよう電話番号や診察券の番号も記録しておきましょう。



3 非常袋の準備

一般生活用品の備え

糖尿病の方が備えておきたい医薬品

経口薬・インスリン自己注射セット

血糖自己測定器・低血糖用ブドウ糖

糖尿病手帳・お薬手帳・保険証

懐中電灯、電池・携帯電話、充電器・飲料水・

非常食・携帯ラジオ・着替え・軍手・室内履き・

洗面用具・予備のメガネ・トイレットペーパー・

ウエットティッシュ・ビニール袋・生理用品・

ばんそうこう・体温計・マスク・常備薬・消毒薬

掲示板

○平成29年度から休日当番医を担当します

当院は栗原市医師会からの要請により平成29年4月から指定された休日に行う「休日急患診療当番医」を担当いたします。

4月は16日の日曜日と他の医療機関を含め、休日当番医を裏面に記載しています。

○4月4日の受付は午後5時で終了します
都合によりまして4月4日の受付は午後5時で終了しますので、ご協力をお願いいたします。



クリニック エンジェル 白衣の天使

3月に入り、仙台にある榴ヶ岡天満宮の梅の満花が報道されました。いよいよみちのくにも桜や菜の花なども咲く春爛漫の季節を迎えます。



(平成29年3月5日撮影)